

チャレンジ鹿児島労働局（19年5月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島市山下町 13 - 21

099 - 223 - 8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

4月の有効求人倍率は0.63倍で前月を上回る。

鹿児島県の本年4月の有効求人倍率（季節調整値）は0.63倍となり、前月を0.02ポイント上回りました。

また、新規求人倍率（季節調整値）は1.05倍と6年4か月ぶりに1倍を超えました。

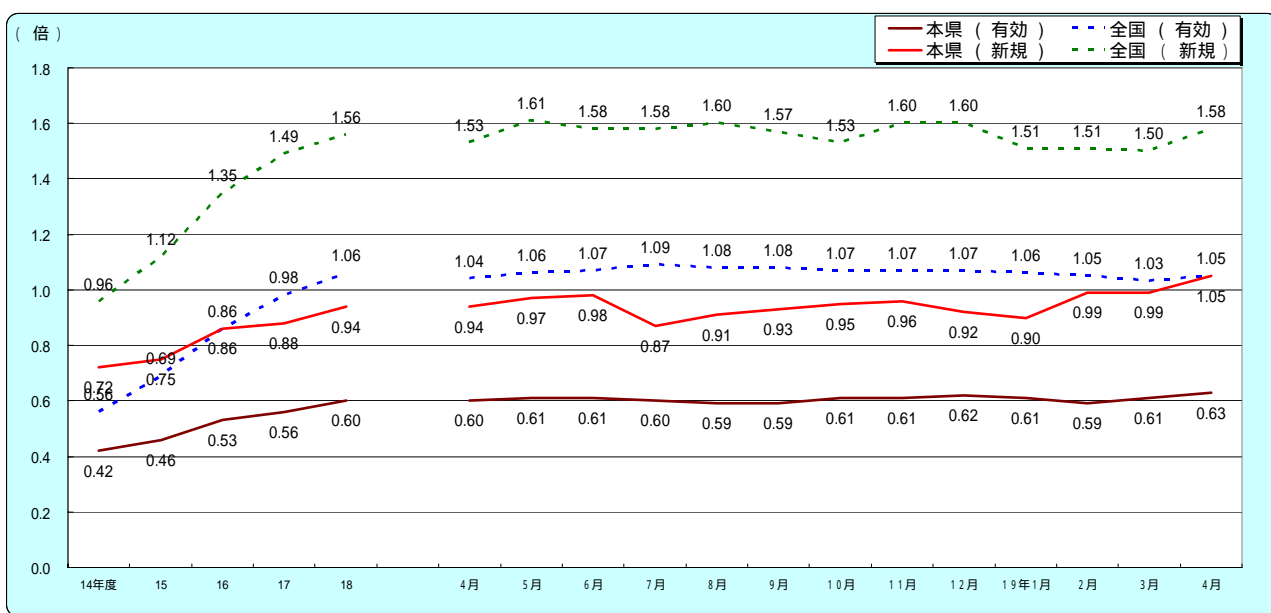
新規求人は、大型小売店等の小売業、電子部品・デバイス製造業、その他の事業サービス業、医療・福祉業からの求人によって、前年同月と比べ製造業で5.1%の減、サービス業で18.7%の増で、全体では7.9%の増と2か月連続で増加しました。

新規求職者数は前年同月と比べ在職求職者が14.5%の増（26か月連続）、離職求職者は2.6%の減で、全体では0.1%増加となりました。

今後の雇用失業情勢について、求人の緩やかな増加傾向は続くものと思われませんが、求職動向も注視しつつ、求人確保と求人の質の向上を図りながら、求人・求職のマッチングに努めてまいります。

（職業安定部職業安定課）

有効（新規）求人倍率の推移



お知らせ

事業主の皆様へ

～ 高年齢者、障害者の雇用状況報告にご協力ください ～

厚生労働省では、毎年6月1日現在の企業における高年齢者及び障害者の雇入れ状況を把握するため、各企業の皆様に対し雇用状況に関する報告をお願いしています。

ご報告いただいたデータは、高年齢者の雇用の確保、障害者雇用率の上げの基礎資料となりますので、ご協力をお願いします。

なお、雇用状況報告書については、直接、厚生労働省から企業へ送付され、提出先は鹿児島労働局職業対策課になっております。

(職業安定部職業対策課)

「学卒求人受理説明会」の開催

鹿児島労働局・ハローワークでは、平成20年3月の新規学校卒業者に係る求人受理説明会を下記により開催いたします。当日は新規学校卒業者の求人申込み方法や公正採用選考等について説明を予定しております。優秀な人材を地元鹿児島に定着させるため、一人でも多くの学生が就職できるよう支援をまいります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時	主 催 ハローワーク	会 場	問 合 せ 先
6月13日(水) (14:00～15:30)	鹿児島	ホテルウェルビュー 鹿児島	099-206-3838
6月18日(月) (14:00～16:00)	国 分	鹿児島県人材育成セ ンター	0995-47-3090

* 説明会を開催しないハローワークにおいては、新規学校卒業者の採用見込みアンケート調査等を実施して、その結果を基に事業所訪問を行い求人申込み方法や公正採用選考等について説明を行う予定にしております。

(職業安定部職業安定課)

次世代育成支援対策推進法に基づく初の認定!!

認定企業は、

株式会社 鹿児島銀行（鹿児島市）

財団法人 慈愛会（鹿児島市）

次世代育成支援対策推進法に基づき一般事業主行動計画を策定・実施し、行動計画に定めた目標を達成したことなどの一定の要件を満たす企業は、「基準適合事業主」として、鹿児島労働局長の認定を受けることができます。

本年4月1日から認定申請が始まり、今般、2年間の第1回計画期間が終了し、要件を満たした上記2企業が認定を受けました。

認定を受けた企業は「次世代育成支援対策に取り組んでいる企業」として、右図の認定マーク（愛称「くるみん」）を求人広告、自社の商品やその広告などにつけることができます。

今後、認定を受けた企業は、鹿児島労働局ホームページ (http://www.kagoshima.plb.go.jp/etc/seido/danjyo/kigyo_list.pdf) において随時発表します。

また、労働局では、多くの企業において認定を目指した取り組みが行われるようにその趣旨、メリットなどの周知啓発に取り組んでいきます。

（雇用均等室）



認定マーク「くるみん」

鹿児島県最低賃金の周知徹底について

最低賃金制度は、賃金の低廉な労働者について、賃金の最低額を保障することにより、労働条件の改善に重要な役割を果たしているところですが、最低賃金の履行状況については、今なお十分とは言い難い実情にあり、最低賃金の遵守が極めて重要な課題となっております。

また、去る2月15日に内閣官房長官を中心とする戦略チームにより取りまとめられた「成長力底上げ戦略（基本構想）」においては、「中小企業底上げ戦略」の一環として、「最低賃金遵守のための事業所に対する指導の強化」及び「最低賃金の国民への広報の推進」が直ちに取組むべき施策とされているところであります。

このため、鹿児島労働局においては、6月に集中的に最低賃金の履行確保を図るための監督指導及び最低賃金の周知広報を行うこととしており、関係各機関に対しても周知広報の協力を呼びかけています。

（労働基準部賃金室）



「鹿児島労働安全衛生大会」を7月2日に開催

鹿児島労働局では、広く安全衛生意識の高揚を図り、労働災害の防止を広く県民にアピールするため、当局が主唱、県内の労働災害防止団体等が主催する「鹿児島労働安全衛生大会」を7月2日（月）13時から鹿児島市民文化ホールで開催することとしています。

同大会では安全衛生関係の表彰式が行われるほか、鮫島吉廣氏（鹿児島大学農学部焼酎学講座教授）による特別講演「さつま焼酎よもやま話」及び黒沢郁夫氏（鹿児島産業保健推進センター基幹相談員、労働安全衛生コンサルタント事務所長）による講演を予定しております。

（労働基準部安全衛生課）

発注機関連絡協議会を5月23日に開催

5月23日（水）に鹿児島労働局会議室に於いて、午前に鹿児島県土木部、農政部、林務水産部の12建設工事発注機関、午後に国の国土交通省九州整備局、農林水産省九州農政局の10建設工事発注機関が参加し、平成18年度建設業の労働災害防止にかかる発注機関連絡協議会を開催しました。

協議会では、発注機関自らが工事施工時の安全衛生の確保に配慮した工期の設定、設計の実施・請負事業者への安全衛生指導等を行うことが重要であることから、発注機関の果たす役割について検討・協議・情報交換を行うとともに、災害防止団体及び監督署からの要望事項について検討を行いました。

（労働基準部安全衛生課）

会議の風景



平成19年度第1回「労働基準監督署長及び公共職業安定所長合同会議」を開催。

5月21日（月）、平成19年度第1回労働基準監督署長及び公共職業安定所長合同会議を開催しました。

同会議では、労働局幹部による本年度の業務運営方針に関する指示等の後、鹿児島地域経済研究所経済調査部長の鳥丸 聡氏から、「鹿児島県の経済・雇用情勢の現状と見通し」をテーマに講演をいただきました。同氏が話された九州全域と本県の景気の動向、産業構造の変貌と新しい雇用の場、九州新幹線が雇用に与える影響等については、今後の行政運営に大いに参考となるものでした。

（総務部企画室）